



PTAスローガン『「みんなで創り、みんなで守り、みんなで育てよう」  
～できることを 全ては子どもたちのために～』

## 交通安全は日頃からの心がけが大切！

前号では「見守り活動のお願い」と題して、皆さんに父母と教師の会が活動に対するお願いするポイントを5つ掲載しましたが、特に1年生の保護者の皆さんは「では具体的には何をしていけばいいの？」と困惑されているのではないのでしょうか。

今号以降で「交通安全」や「不審者対策」などについて特集していきます。

### ◆ 子どもたちの登下校の様子

朝は登校班で集団登校をしていますが、狭い道路を広がって歩いたり、下校時も数人で走ってみたり、ブラブラしながら歩いていることがあります。また、下校後でも、道路でボール遊びをしたり、自転車でカーブを真ん中にはみ出すように曲がっていく子どもを見かけることもあります。

#### <注意して欲しいポイント>

- 👉 登下校は1列になって歩く
- 👉 ふざけて走ったり、道路に飛び出さない
- 👉 道路を横断するときは、必ず左右の安全を確認する



### ◆ 子どもの特性を知ったうえで注意しよう！

歓声を上げながら、全速力で道路を走り抜ける子どもの姿をよく見かけます。特に男の子は「スピード」が大好きで、5歳から8歳の男の子の3人に1人は、道路を走って渡っているというデータもあります。

小さな子どもたちは車に興味津々です。大きなバスやトラックがやってくると、手を振りながら近づいていってしまうこともあります。

車は急に停まらないこと、死角があることを知らないばかりか、自分を守ってくれると思ってしまうこともあります。

子どもは、「知識」と「行動」を結びつける能力も未発達です。だから「飛び出しはだめ」と教えられて「わかった」と答えていても、そのとおり行動できません。道路の向こう側に友だちがいたり、遊びなど楽しいことが待っている時は、欲求を抑えることができないのです。



#### ☺ 「きちんと止まろう、ゆっくり歩こう」

いつも走り回っている子どもたちには、「ゆっくり歩く」、「きちんと止まる」ことを教えましょう。

右側を歩く、歩道があれば歩道を歩く。横断歩道では左右を確認する。縁石、公園の出口、玄関先、「止まれ」のマーク、踏切、お店の出口などでは「止まる」ことを繰り返して教えるようにします。

実際の道路に出て、ゆっくり歩きながらひとつずつ確認するのがポイントです。家の近くの「止まれマーク」を探し、実際に見ながら学ぶのもいいでしょう。

#### ☺ 子どもは「何が危険かわからない」

交差点で近づいてくる車、横断歩道付近の駐車車両、駐車場でバックしてくる車など、危険な対象を見つけだす能力を子どもも持っています。この能力は成長と経験と共に向上していきます。ある研究から、小学1年生では「何が危険かわかっていない」子どもが多いことがわかって



います。しかし、学年が上がるにつれて、危険に対する理解能力は高まります。

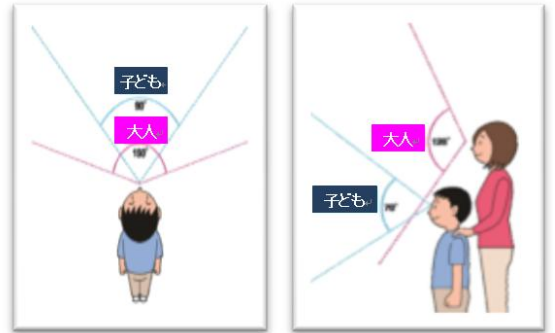
例えば、横断歩道を渡っている時、高学年の子どもは「左折してくる車が危ない」と答えたのに対し、低学年の子どもは「赤信号で停まっている車が怖い」と答えました。状況に応じた判断というより、近いもの、大きいものを「怖い」と判断します。

危険予測の力は、成長段階に応じて変化していきます。発達段階、個人差によって危険予測の能力が違うことを理解してあげてください。

### 😊 子どもの目は大人とは見え方が違う

子どもの水平視野は平均90度で、大人は平均150度まで見え子どもの約1.5倍の視野があるそうです。また、垂直視野だと、子どもが平均70度で大人は平均120度まで見え、こちらも1.7倍の視野があるということです。つまり、大人が考えているほど子どもの視野は広くなく、身長差も加味すると子どもは大人の視野の半分程度しか見えていないことになるかもしれません。

そうすると、子どもがいくら注意深く見ても、大人より実は見えていないことが多いということになります。子どもに注意する場合は、見えていないことを考え合わせてきめ細かい注意をしてあげなければなりません。



### ◆ 自分の日頃の行動を振り返ってみましょう

「ウチの子はあいさつができなくて…」とか「左右の安全確認もしないで渡る…」といったことで悩んでいる保護者の方はいらっしゃいませんか？

どうしてできなのでしょう。もしかしたら、親子で歩いていても近所の方に挨拶をしていなかったり、小さな交差点で安全確認をしないで渡ったりしたことはありませんか。

子どもにとってのお手本は、一番身近にいる親の行動です。言葉で注意するだけでなく、日頃の行動から見直してみましょう。

## 6月2日は個人登校日です。

### 親子で話し合い、安全に登下校しましょう！！

6月2日は個人登校日です。これまでの個人登校日の様子を見ると、子どもたちは楽しそうに登校していますが、普段より注意力が散漫な印象を受けますので、ご家庭でも当日に向けて話し合い、安全に登下校できるようにしましょう。

#### ➤ 歩くときの注意

- ① 友だちと出会っても、ふざけて走ったり、道路に飛び出さない。
- ② 歩道や路側帯や、歩行者用のゾーンの中を歩く。
- ③ みんなが集まっても、広がらずに列になって歩く。

#### ➤ 道路を渡るときの注意

- ① 左右を確かめるときは、道路の一步前で止まって確かめる。
- ② 信号機のある交差点を横断するときは、信号が青になっても左右を確かめてから渡る。

#### ➤ こんなときは・・・

- ① 近所の人にあったら、きちんとあいさつをする。
- ② 車が道を譲ってくれたときは、お辞儀をしてから渡る。

路側帯

車道



歩行者ゾーン